

コレクション展 2012—秋

2012年9月11日 [火] ~11月25日 [日]

出品目録

●出品作品について、ほぼ展示順に、作者名、作品名、制作年、技法・材質、寸法 (cm)、および所蔵注記を記しています。

●作者名に付した☆は和歌山ゆかりの作家を示しています。

●所蔵注記に記載のない作品は当館所蔵です。所蔵作品のうち、寄贈された作品には寄贈者名を記しています。◇は個人蔵の作品です。

●都合により、出品作品を変更する場合があります。

二人の時をめぐって

—今年生誕120年を迎える二人の和歌山生まれの作家、田中恭吉 (たなか・きょうきち 1892-1915) と川口軌外 (かわぐち・きがい 1892-1966) が生きた時代の作品を中心にをご紹介します。

神中 糸子 [JINNAKA Itoko 1860-1943] ☆

海岸風景 1888-92 (明治21-25) 油彩、キャンバス 38.0×80.4 神中茂次氏寄贈

牡丹 1915-25 (大正4-14) 油彩、キャンバス 50.4×61.0 森上安也氏寄贈

鹿子木 孟郎 [KANOKOGI Takeshiro 1874-1941]

パイプを持つ男 1906 (明治39) 油彩、キャンバス 79.6×64.0

中村 不折 [NAKAMURA Fusetsu 1866-1943]

白頭翁 1907 (明治40) 油彩、キャンバス 200.2×136.6 ◇

ヴァン・ドンゲン, キース [VAN DONGEN, Kees 1877-1968]

黒い服の婦人 1910年代 [推定] 油彩、キャンバス 144.5×113.0 森 林平氏寄贈

山下 新太郎 [YAMASHITA Shintaro 1881-1966]

臥婦 1910年代 [推定] 油彩、キャンバス 79.5×140.7 ◇

浜地 清松 [HAMAJI Seimatsu 1885-1947] ☆

暖炉 1911 (明治44) 油彩、キャンバス 102.2×82.1 古座町立津荷小学校寄贈

野長瀬 晩花 [NONAGASE Banka 1889-1964] ☆

被布着たる少女 1911 (明治44) 顔料、絹 114.1×134.8

建畠 大夢 [TATEHATA Taimu 1880-1942] ☆

お湯のつかれ 1913 (大正2) [1970 (昭和45) 铸造] ブロンズ 68.0×40.0×56.0

岸田 劉生 [KISHIDA Ryusei 1891-1929]

黒き帽子の自画像 1914 (大正3) 油彩、板 51.3×39.2 ◇

萬 鉄五郎 [YOROZU Tetsugoro 1885-1927]

残雪 1915 (大正4) 油彩、キャンバス 50.0×60.6 ◇

保田 龍門 [YASUDA Ryumon 1891-1965] ☆

母の像 1915 (大正4) 油彩、キャンバス 73.0×60.9 保田春彦氏寄贈

- 父の像 1915 (大正4) 油彩、キャンバス 73.0×60.8 保田春彦氏寄贈
 自画像 1915 (大正4) 油彩、キャンバス 60.9×50.2
- 高須 光治 [TAKASU Mitsuji 1897-1990]
 自画像 1915 (大正4) 油彩、板 45.4×37.3
- 香山 小鳥 [KAYAMA Kotori 1892-1913]
 風景 1911 (明治44) 油彩、板 22.7×14.6 恩地邦郎氏寄贈
- 恩地 孝四郎 [ONCHI Koshiro 1891-1955] ☆
 海の女 1912 (明治45/大正元) 油彩、キャンバス 45.0×33.3 恩地邦郎氏寄贈
 [恩地 孝四郎]
 鉢 制作年不詳 油彩、キャンバス 23.2×22.9 恩地邦郎氏寄贈
- 田中 二郎 [TANAKA Niro -]
 [コップのある静物] 1910 (明治43) 油彩、板 15.8×22.4 恩地邦郎氏寄贈
 [木立のある風景] 制作年不詳 油彩、板 23.7×33.0 恩地邦郎氏寄贈
- 久本 信男 [HISAMOTO Nobuo 1889-1923]
 和服婦人 明治末-大正初期 油彩、キャンバス 41.4×27.7 恩地邦郎氏寄贈
- 藤森 静雄 [FUJIMORI Shizuo 1891-1943]
 眠る少女 大正初期 油彩、キャンバス 23.8×32.6 恩地邦郎氏寄贈
 花 1915 (大正4) 油彩、キャンバス 33.0×24.0 恩地邦郎氏寄贈
- 佐伯 祐三 [SAEKI Yuzo 1898-1928]
 帽子をかぶる自画像 1922 (大正11) 油彩、キャンバス 73.3×53.9 玉井一郎氏寄贈
 オワーズ河周辺風景 1924 (大正13) 油彩、キャンバス 45.5×53.0 玉井一郎氏寄贈
 広告のある門 1925 (大正14) 油彩、キャンバス 59.9×73.2 玉井一郎氏寄贈
 レ・ジュ・ド・ノエル 1925 (大正14) 油彩、キャンバス 72.3×60.8 玉井一郎氏寄贈
 ポスターとロウソク立て 1925 (大正14) 油彩、キャンバス 45.5×53.6 玉井一郎氏寄贈
 リュ・デュ・シャトーの歩道 1925 (大正14) 油彩、キャンバス 60.0×73.1 玉井一郎氏寄贈
 下落合風景 1926 (昭和元) 頃 油彩、キャンバス 49.7×60.4 玉井一郎氏寄贈
 男の顔 (K氏の像) 1927 (昭和2) 油彩、板 33.0×23.8 玉井一郎氏寄贈
 カフェ・レストラン 1927 (昭和2) 油彩、キャンバス 61.0×50.3 ◇
 モラン風景 1928 (昭和3) 油彩、ボード 38.0×44.5 玉井一郎氏寄贈
 オペセルヴァトワール附近 1927 (昭和2) 油彩、キャンバス 73.2×91.8 玉井一郎氏寄贈
- 保田 龍門 [YASUDA Ryumon 1891-1965] ☆
 アンドレの首 1922 (大正11) ブロンズ 20.3×20.0×20.0 和歌山県立美術館友の会寄贈
- 国吉 康雄 [KUNIYOSHI Yasuo 1889-1953]
 乳しぼり 1921 (大正10) 油彩、キャンバス 61.0×50.5
- 石垣 栄太郎 [ISHIGAKI Eitaro 1893-1958] ☆
 拳闘 1925 (大正14) 油彩、キャンバス 75.4×91.2
 街 1925 (大正14) 油彩、キャンバス 126.0×91.0
 ボーナス・マーチ 1932 (昭和7) 油彩、キャンバス 145.4×107.0 石垣綾子氏寄贈
- 浜地 清松 [HAMAJI Seimatsu 1885-1947] ☆
 裸婦 1928 (昭和3) 油彩、キャンバス 144.0×110.5
 赤い帽子 1928 (昭和3) 油彩、キャンバス 100.0×73.0
- 里見 勝蔵 [SATOMI Katsuzo 1895-1981]
 マダム Y.S. 1924 (大正13) 油彩、キャンバス 64.7×53.0 ◇
- 兎島 善三郎 [KOJIMA Zenzaburo 1893-1962]
 カーニユ風景 1926 (大正15/昭和元) 油彩、キャンバス 60.0×72.0 ◇
- ヴラマンク, モーリス・ド [VLAMINCK, Maurice de 1876-1958]
 風景 制作年不詳 油彩、キャンバス 38.0×45.5 ◇
 花 制作年不詳 油彩、キャンバス 54.0×37.0 ◇

- ロート, アンドレ [LHOTE, André 1885-1962]
 ミルマンドの城壁 制作年不詳 油彩、キャンバス 33.0×24.0
- デュフィ, ラウル [DUFY, Raoul 1877-1953]
 コンポティエのある静物 1940 (昭和15) 頃 油彩、キャンバス 65.2×81.2 森 林平氏寄贈
- 原 勝四郎 [HARA Katsushiro 1886-1964] ☆
 画工像 1932 (昭和7) 油彩、厚紙 65.0×52.6
 道化 1941 (昭和16) 油彩、厚紙 90.3×73.2
- 高井 貞二 [TAKAI Teiji 1911-1986] ☆
 感情の遊離 1932 (昭和7) 油彩、キャンバス 150.7×91.0 作者寄贈
 エミグラントの街 1940 (昭和15) 油彩、キャンバス 129.4×158.7 作者寄贈
 北の国境 1943 (昭和18) 油彩、キャンバス 160.2×127.4 作者寄贈
- 松田 文雄 [MATSUDA Fumio 1908-1971]
 老鍛冶屋 1940 (昭和15) 油彩、キャンバス 162.0×94.5 森 林平氏寄贈
- 建畠 大夢 [TATEHATA Taimu 1880-1942] ☆
 感に打たれた女 1932 (昭和7) ブロンズ 高さ: 161.0
- 村井 正誠 [MURAI Masanari 1905-1999] ☆
 パンチュール No. 3 1929-33 (昭和4-8) 油彩、キャンバス 113.5×194.5 作者寄贈
 URBAIN No.1 1936 (昭和11) 油彩、キャンバス 112.2×194.2
 [クリジフィ] 1947 (昭和22) 頃 油彩、キャンバス 100.0×80.5 村井伊津子氏寄贈
- 林 康夫 [HAYASHI Yasuo 1928-]
 人体 1950 (昭和25) 陶 46.0×23.0×18.5
 作品 51-3 1951 (昭和26) テラコッタ 32.0×27.0×49.0 作者寄贈
- 山田 光 [YAMADA Hikaru 1923-2001]
 作品 1952 (昭和27) 陶 36.0×17.5×14.0 作者寄贈
 作品 1956 (昭和31) 陶 31.5×33.5×27.0 作者寄贈
- 建畠 覚造 [TATEHATA Kakuzo 1919-2006] ☆
 祖 1958 (昭和33) 木、セメント 124.0×37.5×37.5 作者寄贈
- 稗田 一穂 [HIEDA Kazuho 1920-] ☆
 鳥 1949 (昭和24) 顔料、紙 112.1×161.4 作者寄贈
 囁く鳥達 1961 (昭和36) 顔料、紙 111.8×161.8 作者寄贈
- 下村 良之介 [SHIMOMURA Ryonosuke 1923-1998]
 夜の曲 1951 (昭和26) 顔料、紙 121.0×121.1
 月 1954 (昭和29) 顔料、紙 121.7×121.3
- 三上 誠 [MIKAMI Makoto 1919-1972]
 荒地 1960 (昭和35) インク、蠟、顔料、紙 151.3×121.3
- 星野 眞吾 [HOSHINO Shingo 1923-1997]
 喪中の作品 A 1965 (昭和40) 顔料、紙 180.6×89.5
- 保田 春彦 [YASUDA Haruhiko 1930-] ☆
 伝説 1957 (昭和32) 木 99.5×36.5×39.2
- 大野 俣嵩 [ONO Hidetaka 1922-2002]
 Two Forms 1959 (昭和34) 麻布、顔料、木屑、綿布 136.8×122.1×17.6
 作品 1961 (昭和36) 麻布、顔料、綿布 151.3×169.5
- 池田 龍雄 [IKEDA Tatsuo 1928-]
 規格品 1956 (昭和31) 油彩、キャンバス 145.8×111
- 田中 敦子 [TANAKA Atsuko 1932-2005]
 '61 赤と黒 1961 (昭和36) ビニール絵具、キャンバス 175.0×129.5
- 白髪 一雄 [SHIRAGA Kazuo 1924-2008]
 平治元年十二月二十六日 1966 (昭和41) 油彩、キャンバス 273.0×363.8

私たちの時へ

—田中恭吉、川口軌外の二人が生きた時代以降の作品をご紹介します。

柳原 義達 [YANAGIHARA Yoshitatsu 1910–2004]

道標・鴉 1978 (昭和53) ブロンズ 57.0×66.0×27.5

工藤 哲巳 [KUDO Tetsumi 1935–1990]

未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り 1979 (昭和54) ミクストメディア 15.0×45.5×45.0

麻生 三郎 [ASO Saburo 1913–2000]

ゆかひと 1977 (昭和52) 油彩、キャンバス 130.3×162.5 ◇

生きている気配 2 1978 (昭和53) 油彩、キャンバス 162×227.3 ◇

李 禹煥 [LEE U-Fan 1936–]

点より 1980 (昭和55) 岩彩、キャンバス 193.9×258.8

保田 春彦 [YASUDA Haruhiko 1930–] ☆

作品3-71 1971 (昭和46) 真鍮、クロム・ホワイトメッキ 84.2×82.8×82.6 作者寄贈

野田 裕示 [NODA Hiroji 1952–] ☆

WORK 214 1984 (昭和59) アクリル、ボード、木、綿布、麻布 166.0×116.2×12.0 作者寄贈

WORK 505 1988 (昭和63) アクリル、キャンバス 262.3×183.2×7.0

シーガル, ジョージ [SEGAL, George 1924–2000]

煉瓦の壁ぞいに歩く男 1988 (昭和63) 石膏、木、アクリル絵具、他 264.6×359.9×270.4

赤いシャツの3人：ふたりが正面、ひとりが背面：ブルージーンズ・シリーズ

1975 (昭和50) エッチング、アクアチント、紙 100.0×200.0 ◇

クローズ, チャック [CLOSE, Chuck 1940–]

自画像 1983 (昭和58) ペーパーパルプ、キャンバス 137.2×101.6

坪井 明日香 [TSUBOI Asuka 1932–]

唐織追想 1990 (平成2) 陶 63.0×44.0×34.0

中村 康平 [NAKAMURA Kouhei 1949–]

Resurrection 1991 (平成3) 陶 55.0×52.5×40.0

染谷 聡 [SOMEYA Satoshi 1983–]

縁鹿 (サイクルジカ) 2008 (平成20)

漆、乾漆技法、薬莢、鹿の角、金銀、他 55.0×45.0×80.0 田中恒子氏寄贈

パラディーノ, ミンモ [PALADINO, Mimmo 1948–]

アトランティコ 1987 (昭和62) リノカット、コラグラフ、紙 188.5×58.0 (7点)

建畠 覚造 [TATEHATA Kakuzo 1919–2006] ☆

杜・対話 7 1999 (平成11) 木、化学粘土 203.0×125.5×82.0 建畠嘉氏寄贈

展示室外の作品

グレコ, エミリオ [GRECO, Emilio 1913-1995]

病人を看護する 1963 (昭和38) ブロンズ 157.0×186.5×12.0 玉井一郎氏寄贈

クルーガー, バーバラ [KRUGER, Barbara 1945-]

無題 (私を覚えている) 1988 (昭和63) シルクスクリーン、ビニール 378.7×268.1×5.0

ステラ, フランク [STELLA, Frank 1936-]

ラッカ III 1968 (昭和43) アクリル、キャンバス 304.0×760.0

ノグチ, イサム [NOGUCHI, Isamu 1904-1988]

黒いシルエット 1958 (昭和33) アルミニウム 241.0×73.0×60.0

郡田 政之 [KOORIDA Masayuki 1960-]

UNTITLED 1998 (平成10) 木、鉄、アクリル 200×142×155 ◇

UNTITLED 1999 (平成11) 木、鉄、アクリル 212×70×150 ◇

秋山 陽 [AKIYAMA You 1953-]

META-VOID 2004 (平成16) 陶 130×125×136 古曾志文吉氏寄贈

湯川 雅紀 [YUKAWA Masaki 1966-]

Siena 2005 (平成17) 油彩、キャンバス 70×540

北堅 吉彦 [KITANO Yoshihiko 1960-]

熊野-moegi (萌黄)

1999 (平成11) 油彩、キャンバス 270×320 (3点) 作者の厚意により保存

山並-senkoushu (鮮光朱)

1999 (平成11) 油彩、キャンバス 170×1020 作者の厚意により保存

フラナガン, バリー [FLANAGAN, Barry 1941-2009]

ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎 1989 (平成元) ブロンズ 230.0×187.0×128.5

ライトコート作品

井上 雅之 [INOUE Masayuki 1957-]

T-9216 1992 (平成4) 陶 216.0×246.0×179.0

金子 潤 [KANEKO Jun 1942-]

DANGO 1985 (昭和60) 陶 57.0×72.0×53.0

山口 牧生 [YAMAGUCHI Makio 1927-2001]

かたむくかたち A 1984 (昭和59) 黒御影石、ベンガラ 177.0×75.5×50.5

屋外の作品

スネルソン, ケネス [SNELSON, Kenneth 1927-]

着地 1969 (昭和44) ステンレススチール 250.0×1000.0×360.0

北尾 博史 [KITAO Hiroshi 1967-]

アシモトノセカイ 1999 (平成11) 銅、鉄 200.0×500.0×500.0 田中恒子氏寄贈

建畠 覚造 [TATEHATA Kakuzo 1919-2006] ☆

MANJI 1982 (昭和57) ステンレススチール 270.0×170.0×75.0 作者寄贈

保田 春彦 [YASUDA Haruhiko 1930-] ☆

球を覆う幕舎 1994 (平成6) ステンレススチール 208.0×335.0×305.0

聚落を囲う壁 II 1994-95 (平成6-7) 鉄 60.0×127.5×451.2

田中恭吉 [TANAKA Kyokichi 1892–1915]

1892（明治25）年和歌山市に生まれる。徳義中学校卒業とともに上京、白馬会原町洋画研究所に学び、1911（明治44）年東京美術学校に入学しました。文芸雑誌『白樺』が創刊され、ゴッホやムンクなどの西洋美術の紹介がさかんに行われていた頃です。

在学中に研究所で親しくなった友人と回覧雑誌『ホクト』を、ついで『密室』を作り、ペン画や短歌、散文を寄せます。さらに、1913（大正2）年には木版画の試作をはじめ、藤森静雄や恩地孝四郎とともに制作に情熱を傾けました。

1914（大正3）年、恩地孝四郎、藤森静雄と三人の木版画集出版がきまりましたが、結核を発病した田中は療養のために帰郷しなければなりません。刊行の前に自分たちの力をつけるために私家本を作ったのち、詩と版画の雑誌『月映』はこの年の9月に創刊されました。

木版を彫る体力が失われても、ペン画や詩作を続けましたが、1915（大正4）年10月に逝去。23歳でした。死後、萩原朔太郎に依頼されていて果たせなかった、第一詩集『月に吠える』の装画は、『心原幽趣』I におさめられた作品を中心に、恩地孝四郎の装丁によって完成されました。

川口軌外 [KAWAGUCHI Kigai 1892–1966]

1892（明治25）年11月、現在の和歌山県有田川町に生まれました。本名は孫太郎。1912（昭和45）年、19歳で画家を志して上京しました。和歌山師範学校在学中であったため放校処分を受け、美術学校には進学せず、太平洋画会研究所で中村不折、日本美術院洋画部で小杉未醒について学びました。のち安井曾太郎にも個人的に指導を受けています。

1919（大正8）年にフランスへ渡り、1923（大正12）年に一時帰国し、再渡仏後1929（昭和7）年に帰国するまで、ヨーロッパにおける絵画の伝統と、フォービズムやキュビズムなどの革新的な動きをアンドレ・ロートが設立した絵画研究所やフェルナン・レジェに学びました。一方で隣あって暮らしていたこともある佐伯祐三をはじめ、里見勝蔵、児島善太郎らと親交を結び、のちに、彼らが創立した1930年協会に参加し、独立美術協会を創立して共に活動しました。

鮮やかな色彩で、幻想的な情景を描き、独立美術協会の中心的な画家として活躍し、第二次世界大戦後はアンフォルメルなど新しい表現も積極的に取り入れて常に実験的な姿勢で制作を続けました。1966（昭和41）年6月に逝去。

和歌山県立近代美術館